

「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」における平成29年度パイロット事業（実証実験）の実施集団選定状況

資料2

平成29年10月19日現在

○44都道府県において51対象集団が決定（47都道府県で54対象集団の見込）。

○荷種の内訳は、食料品16件、農産物7件、建設資材6件、機械製品5件、ゴム製品2件、化学品2件、その他13件であり、全国で様々な荷種を扱う。

都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
北海道	○	○	○	農産物
青森	○	○	○	農産物
岩手	○	○	○	食料品
宮城	○	○	○	食料品
秋田①	○	○	○	農産物
秋田②	○	○	—	紙・パルプ
山形	○	○	○	食料品
福島①	○	○	—	ゴム製品
福島②	○	○	○	食料品
茨城	○	○	選定中	浴槽等
栃木	○	○	○	農機具
群馬				
埼玉	○	○	選定中	
千葉	○	○	○	建設資材
東京①	○	○	○	食料品
東京②	○	○	○	建設資材
神奈川	○	○	○	化学品
山梨	○	○	○	食料品
新潟	○	○	○	農産物
長野	○	○	○	食料品
富山	○	○	選定中	化学品
石川①	○	○	○	オフィス製品
石川②	○	○	選定中	食料品
愛知①	○	○	○	建設資材
愛知②	○	○	○	食料品
静岡	○	○	○	ゴム製品
岐阜	○	○	○	窯業品
三重①	○	○	—	建設資材
三重②	○	○	—	食料品

都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
福井	○	○	—	金属製品
大阪	○	○	○	食料品
京都	○	○	○	印刷フィルム
兵庫	○	○	○	機械製品
滋賀	○	○	○	日用品
奈良	○	○	○	建設資材
和歌山①	○	○	○	機械製品
和歌山②	○	○	○	食料品
広島	○	○	○	食料品
鳥取	○	○	○	食料品、飼料
島根	○	○	○	集荷荷物
岡山	○	○	○	機械製品
山口	○	○	○	建設資材
徳島	○	○	○	農産物
香川				
愛媛	○	○	○	日用品
高知				
福岡	○	○	—	家具
佐賀	○	○	—	機械製品
長崎	○	○	—	農産物
熊本	○	○	○	機械製品
大分	○	○	—	工業製品
宮崎	○	○	○	農産物
鹿児島	○	○	○	食料品
沖縄	○	○	○	食料品

パレット化による荷役作業時間の削減(北海道の事例)

実施集団(29年度新規)

発荷主:2社(非公表)

方面:道南及び道央⇒道内の市場

運送事業者:運送事業者4社(非公表)

着荷主:2社(非公表)

荷種:農産物

課題

1. 発荷主側、着荷主側ともに手荷役による作業のため、荷役作業が長時間化している。
2. 複数箇所での積込みのため、拘束時間が長時間化している。

検討中の取組内容

➤ ①パレット化による荷役作業時間の削減

パレットを使用した輸送による、荷役時間の削減効果を検証

➤ ②運行計画の見直し(集荷ルートの見直し等)

集荷ルート及び配送ルートの見直しを行うことによる全体の拘束時間の削減効果を検証

期待される効果

- 荷役時間の削減によるドライバーの負担軽減(①)
- 集荷ルートの見直し等による拘束時間の削減(②)

荷積み時間の削減等による拘束時間の削減(青森県の事例)

実施集団(29年度継続)

発荷主:十和田おいらせ農業協同組合 方面:青森県
 運送事業者:中長運送(株) →首都圏の市場
 着荷主:青果卸売業者(非公表)
 荷種:農産物

- 前年度は閑散期における荷積み時間の削減効果等を検証
(荷積み時間 最大 3.8時間 → 2.9時間へ改善)
- 今年度は繁忙期における荷積み時間の削減効果等を検証

課題

1. 配送先への到着が混雑時であるため、待機時間が長時間化している。
2. 配送先ごとの仕分けができていない積み荷があるため、積込作業に時間を要している。
3. 複数の荷受先に荷降ろしをしているため、その都度荷受先の手待ちや荷役に時間を要している。

検討中の取組内容

➤ ①朝積み時間の前倒し

時間を前倒しし、着荷主側の混雑時間を避け早めに到着することにより、待機時間の短縮を図る

➤ ②配送先別の積み荷の区分け

配送先ごとに積み荷を仕分けして、「配送先」を明確化することにより荷役作業時間の削減を図る

➤ ③1運行の荷受け先削減

1運行の配送先を4箇所から2箇所程度に減らすことにより、待機時間や荷役作業時間の削減を図る

期待される効果

- 待機時間の削減による休息時間の確保(①、③)
- 荷役時間の削減によるドライバーの負担軽減(②、③)

実施集団(29年度新規)

発荷主:積水ハウス(株)山口工場 方面:山口県⇒福岡県
運送事業者:センコー(株)
着荷主:積水ハウス(株)九州物流センター
荷種:建設資材(住宅資材)

課題

1. 発荷主側:積込時の入門指定時間帯があるが、積荷の準備等発荷主側の都合により、受付から積込レーン接車までの待機時間が発生
2. 発荷主側:積込時のシートがけ・養生作業が手作業であるため、長時間の作業が発生
3. 着荷主側:午前8時以降、毎時5両分の着時間指定があるが、先着順のため指定時間前の到着による待機時間が発生

検討中の取組内容

➤ ①入門時間を積荷の準備状況を踏まえ再設定(発荷主)

前日までの積荷準備状況を踏まえ、入門指定時間帯を設定し、待機時間の削減を図る

➤ ②附帯作業を機械化(発荷主)

ドライバーの附帯作業を軽減するために、養生作業を機械化し、作業時間の削減を図る

➤ ③入門時間を指定(着荷主)

レーン数にあわせて2両ずつ時間をずらして指定することにより、早朝からの待機時間の削減を図る

期待される効果

- 待機時間の削減による拘束時間の削減(①、③)
- 荷役作業時間の削減によるドライバーの負担軽減(②)